

『裾野を広げる成形加工：基礎を固めて展開へ』

情報 URL <http://www.jspp.or.jp/kikaku/annual/>

第 26 回年次大会は、『裾野を広げる成形加工：基礎を固めて展開へ』をスローガンに開催いたします。

2014 年度ノーベル物理学賞は青色 LED の開発が受賞しました。20 世紀中には開発が困難と言われた青色 LED に関して、基礎研究を重ねて工業化まで実現した日本のものづくりのレベルの高さが評価されました。

プラスチック材料および成形加工はものづくりの基本です。しかしながら、いまだ、多くの現象は未解明でありますが、成形加工技術は日々発展しています。世界における日本のプレゼンスを高めるためには、基礎から工業化まで幅広い研究が求められています。

第 26 回年次大会では、成形加工を基礎から学ぶ成形加工『基礎を固める特別授業』の開催、環境・エネルギー、ヘルスケアなど成形加工の裾野を広げることを目的として特別セッション化、また、前回大会に引き続き、日本のものづくりを支える中小企業セッションを開催いたします。企画展示では、「安全・安心・快適」をキーワードに開催する予定です。新企画として会員同士の交流イベント『ダイバーシティ交流会』を開催します。

今回のノーベル賞受賞は日本の技術力の高さをあらためて世界に示すことになり、成形加工分野においても日本からの発信をさらに強くするために、皆様と共に幅広い分野で“語り合う場”としたいと考えています。

多数の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2015 年 6 月 3 日(水)、4 日(木)
2. 会 場：タワーホール船堀(江戸川区総合区民ホール)
東京都江戸川区船堀 4-1-1
・都営新宿線船堀駅下車 1 分(駅前) 地図を以下の HP でご覧いただけます。
<http://www.towerhall.jp/>
3. 主 催：一般社団法人プラスチック成形加工学会
4. 協 賛(予定)：化学工学会、型技術協会、機能性フィルム研究会、強化プラスチック協会、高分子学会、自動車技術会、精密工学会、繊維学会、全日本プラスチック製品工業連合会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本接着学会、日本繊維機械学会、日本塑性加工学会、日本バイオプラスチック協会、日本複合材料学会、日本プラスチック機械工業会、日本レオロジー学会、マテリアルライフ学会、SPE 日本支部

5. 内 容

・特別講演

下記 1 名のご講演を予定しております。

『日本経済の行方とプラスチック成形の今後』(仮題)

経済産業省 産業技術環境局

安永 裕幸 氏

・特別セッション

(〈) 内はセッションオーガナイザー)

I. 未来を開くポリマー系複合材料

〈田上秀一(福井大学)、山口政之(北陸先端科学技術大学院大学)、西谷要介(工学院大学)、仲井朝美(岐阜大学)〉

プラスチック材料に対する機能強化の要求度は年々増えています。また、材料開発技術や混練技術、成形技術の進歩により、プラスチック材料にはいろいろな機能を付加することができるようになりました。このセッションでは、プラスチック材料に炭素繊維、ナノカーボン、窒化ホウ素、セルロースナノファイバーなど高機能性材料を添加する複合材料に主眼をおいて、高熱伝導化、高電気伝導化、高強度化などおなじみの機能について、機能強化の現状と今後の展望について議論できる場にしたと思います。

II. 環境・エネルギー

〈川崎真一(大阪ガスケミカル)、徳満勝久(滋賀県立大学)、正部祐季(積水化学)〉

快適で文化的な社会や生活を求めつつ、世界的な地球温暖化や環境汚染の問題の解決は、21 世紀の人類が直面している大きな課題です。そのような中で、環境とエネルギーは密接に関連しており、共に大きな変革の時代を迎えています。環境とエネルギーにかかわるプラスチックの成形加工は、今日解決を迫られている課題解決に加え、将来の幅広い展開が見込まれるインパクトの大きな技術です。ここでは、非化石資源、リサイクル、省エネ、高効率や軽量化などをキーワードとした環境・エネルギーのプラスチック成形加工に関するテーマについて業種や分野を越えた活発で意義深い議論の場になればと考えています。

III. ヘルスケアを支える成形加工技術

〈田中賢(山形大学)、中澤浩二(北九州市立大学)〉

医療機器や衛生・生活用品に利用されるプラスチック材料・製品の製造・開発では、機能性材料の利用や開発のみならず、材料の機能を最大限に発揮させるための成形加工技術、機能性を付与するための表面処理技術との融合が不可欠です。本セッションでは、成形加工技術の新たな発展領域として、医用・健康分野に関連した機能性材料と成形加工・表面処理技術に関する情報交換・議

論の場を企画致します。本セッションが、材料開発と成形加工技術の融合による新たな研究開発の発信の場となり、医用・健康分野の更なる発展のきっかけになればと考えております。

IV. 成形加工の高度化に寄与する CAE

〈瀬戸雅宏（金沢工業大学）、一ノ瀬規世（JSOL）、名嘉山祥也（九州大学）〉

プラスチック成形加工における CAE 技術は、1980 年代初頭から実用化されはじめ、その後の研究者や技術者による高精度化、利用技術に関する積極的な研究開発によって、今では必要不可欠な技術の一つとなっています。当学会では、様々な活動を通して CAE 技術発展の一翼を担ってきました。近年、成形加工分野において高機能化や高精度化、低コスト化のニーズとともに、新しい解析手法やアルゴリズムの開発、成形プロセスの最適化技術によって益々 CAE に対する期待が高まっています。本セッションでは、CAE を用いたプロセス現象の理解や最適化技術の応用・展開、新しい計算手法などの講演を通して、これらからの成形加工における CAE 技術について議論できる場にしたいと考えています。多くの方のご参加を期待します。

V. 日本のイノベーションを牽引する元気な中小企業

〈秋元英郎（秋元技術士事務所）、仙波健（京都市産業技術研究所）、山田浩二（大阪市立工業研究所）〉

今日本の産業構造は大きな変革の時期を迎えています。今まで正しかったやり方が、敗北へ進み、常識外れだったやり方が勝利につながる時代が到来します。高度な技術が安く使用できるようになり、単に既存技術の組合せでも新領域に投入するだけで新しいビジネスが生み出されます。いつの時代でも、イノベーションは小規模な事業者の勇氣あるチャレンジが火をつけています。今や中小企業は護送船団で保護すべき対象ではなく、日本のイノベーションを牽引するために先頭を走る役割を担っています。本セッションは、常識にとらわれず、先進的な取り組みをしている、規模は小さくても特徴ある中小企業からの発信の場にしたいと考えています。

・一般セッション

1. 射出成形
2. 圧縮成形・押出成形・混練
3. 紡糸・フィルム成形
4. 超臨界流体・発泡技術
5. マイクロ・ナノ成形
6. アロイ・ブレンド・複合材料
7. リサイクル・環境調和材料
8. 工業レオロジー
9. 金型
10. 構造・物性・評価

・学生ポスターセッション

〈引間悠太（京都大学）、高山哲生（山形大学）、宝田亘（東京工業大学）、榎本和城（名城大学）、西岡昭博（山形大学）、山田和志（京都工芸繊維大学）〉

本大会ではプラスチック成形加工に関する次世代の優秀な人材育成・発掘を目的に、「学生ポスターセッション」と題して、大会参加者と学生発表者の活発な意見交換の場を設けます。発表資格は 30 歳以下の現在在学中の学生（高専、大学、修士課程、博士課程など）とし、発表者全員を対象に学生ポスター賞の審査を実施し、優れたポスター発表者を表彰します。成形加工分野の元気な皆さんの積極的な発表を期待いたします。

・一般ポスターセッション

〈廣田晋一（ポリプラスチック）、郡洋平（出光興産）〉

大会参加者と多くの分野で研究されている発表者の活発な意見交換の場、そして知識を広げる場としてポスターセッションを設けます。本年度も希望者を対象とし、ポスター賞の審査を実施し、優れたポスター発表者を表彰します。皆様のご参加お待ちしております。

・成形加工『基礎を固める特別授業』

〈加藤真理子（大阪ガスケミカル）〉

著名講師と若手研究者の交流を図る「基礎を固める特別授業」を企画し、若手育成による人的な裾野拡大にもスポットを当てたいと思っています。今回は、押出成形、紡糸、CAE、レオロジーにスポットを当て、それぞれの分野の基礎知識の理解を通じ、著名講師から次代を担う若手研究者に向けてのメッセージを繋ぐ場としたいと考えています。

【1 日目】 6 月 3 日(水)

・「繊維・フィルムの伸長プロセスにおける高次構造形成」
 榎谷雄士先生（東京工業大学）

・「レオロジーの基礎と測定でわかる事」
 伊崎健晴先生（三井化学）

【2 日目】 6 月 4 日(木)

・「高分子材料の溶融混練」
 梶原稔尚先生（九州大学）

・「CAE の基礎—構造解析を中心に—」
 野々村千里先生（東洋紡）

・企画展示

「安全・安心・快適」をキーワードとして、衝撃吸収や振動吸収に関する展示を行う予定です。

・カタログ・機器展示会

〈時久昌吉（日本製鋼所）、亀田隆夫（三光合成）〉

本年度もカタログ・機器展示会をポスター会場に併設いたします。企業や大学 TLO の PR の場としてご活用ください。詳細は、本号掲載の「カタログ・機器展示会出展者募集」のページをご参照ください。募集要項、展示申込書は大会ホームページからも入手できます。ご関係の皆様のご応募をお待ちしております。

・新企画『ダイバーシティ交流会』

〈木原伸一（広島大学）、杉本昌隆（山形大学）、岡田きよみ（パーキンエルマー）、長井聡（三菱エンジニアリングプラスチック）、横山敦士（京都工芸繊維大学）、狩野武志（三井化学）〉

社会環境が大きく変化するなか、女性をはじめ若手から高齢者、外国人など様々な人材を確保することは組織運営戦略の一環となっています。当学会では、プラスチック成形加工業界におけるこれらの問題を検討するため、会員に共通する課題や、いっしょに取り組めることを考えるため、交流イベントを予定しています。本企画に関する詳細は大会ホームページをご覧ください。

6. 参加申込要領

- ① 年次大会・懇親会に参加ご希望の方は、本稿冒頭に記載のホームページより所定の期日までにオンラインでお申し込みください。オンライン申込みができない場合には、本号綴じ込みの「参加申込書」に必要事項を記入の上、郵送またはFAXでお申し込みください（1名につき1枚使用のこと）。
- ② 参加費（税込、講演論文集1冊を含む）などは下表のとおりです。

正会員・賛助会員	事前登録 10,000円*
	当日受付 15,000円*
協賛学協会会員	事前登録 15,000円*
	当日受付 20,000円*
運営支援委員	無料
学生(会員・非会員)	2,000円*
非会員	20,000円
懇親会(6月3日)	6,000円
講演論文集送料	500円

(注) *は非課税です。

- ③ 参加申込に際しては、記載された注意事項をよく読んでお申し込みください。
- ④ 事前登録の締切は5月22日(金)です。これ以降は当日登録扱いとなります。なお、上記締切日までに参加登録された方につきましては、大会会場の総合受付で配布予定の「年次大会参加登録者名簿」にお名前、所属が掲載されます。

7. その他

・運営支援委員募集

大会運営に協力していただける「運営支援委員」を募集しております。大会運営を通じ、同世代の研究者・技術者との交流や、著名な先生・研究者の方々と親しくなる機会も豊富にあります。博士後期課程の学生の方も募集対象としております。詳細は本号掲載の「運営支援委員募集」のページをご参照ください。大会ホームページよりオンラインで申込みいただけます。奮ってのご応募をお待ちしております。募集の締切は4月24日(金)です。

・広告募集【年次大会講演予稿集】

年次大会講演予稿集に掲載する広告を募集しております。詳しくは、学会事務局にお問い合わせください。

8. お問い合わせ先

〒141-0032 東京都品川区大崎5-8-5

グリーンプラザ 五反田2-205

プラスチック成形加工学会 事務局

TEL(03)5436-3822 FAX(03)3779-9698

E-mail: plakakou@sepia.ocn.ne.jp

第26回年次大会実行委員会

実行委員長：横山敦士（京都工芸繊維大学）

副実行委員長：狩野武志（三井化学）